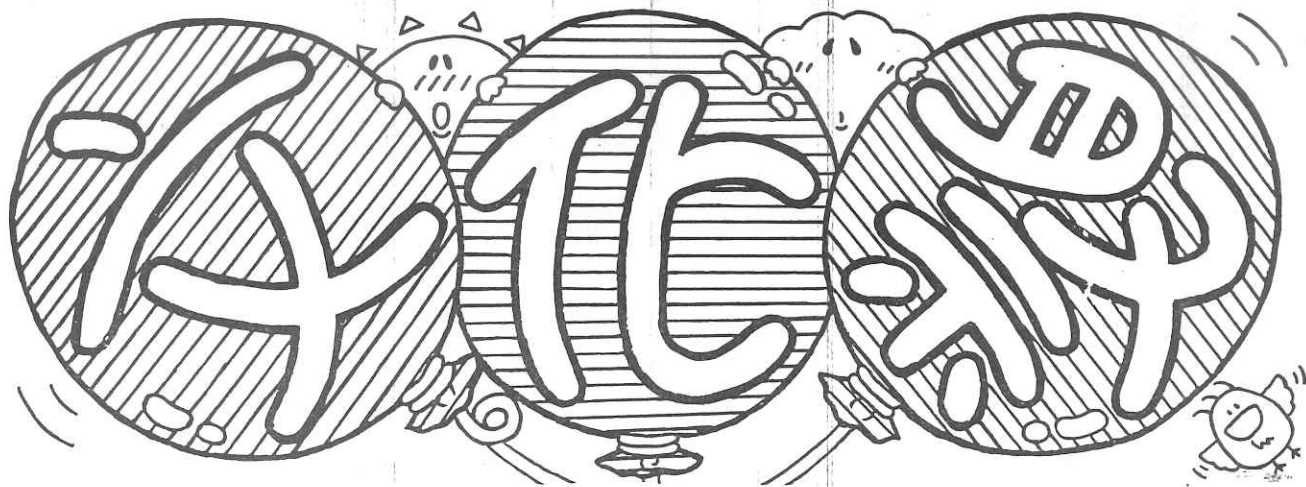




発行所
大阪市阿倍野区阪南
町一丁目30番34号
*大阪府立阿倍野高校
新聞部
編集責任 木越真人
発行責任 和田勝彦

やる気十分

成功するか文化祭

「DO MY BEST」をスローガンに、第三十六回文化祭が行われている。今年は「生徒自身の自主活動」ということで進められていたが、H・Rでの話し合いも、文化委員任せになるなど、生徒の自主性が問われた。

一日と二日にかけて、第三十六回阿倍野高校文化祭が開催される。阿倍野高校は、何事にも無気力・無関心・無感動といわれており、今までの文化祭にも一つ盛り上がりが出ていた。

文化祭出し物 ～クラス参加～

今年、文化祭の発足が大幅に遅れてしまった。それは、例年だと、四月に発足して、十分な準備期間をとっている。だが、今年はこれと逆に、長い期間だとだらだらしてしまうので短期間なら、一気にできるのではないかという考えから遅らせたのだ。しかし、実際はというと全く逆で、一気にできるどころか、すべてに余裕がなかった。そのため、文化祭の第一歩である大事な『文化祭基本方針案』が議決に出されたのは六月二十八日、承認されたのは、三十日であった。

しかし、これもここで承認しないと文化祭ができないうというせつぱつた状態からであった。それは、部会のメンバーは懸命に努力したと思うが、やはり短期間でできるものではない。

教師も生徒に任せきりで進行状況を聞いてみても、「生徒に任せてある」という返答だけであった。一部

- 一面 文化祭
- 二・三 特集「鳥取砂丘」
- 四面 クラスポ、演劇部、他

のほか、ライブハウス・映画・展示などについても数ある。グループ参加、一般参加を制限し、一つの出し物に集中するのを防いだ。

文化祭出し物 ～クラブ発表+有志～

☆クラブ発表
☆舞台関係
☆ダンス関係
☆吹奏楽関係
☆バレーボール関係
☆テニス関係
☆バドミントン関係
☆卓球関係
☆柔道関係
☆剣道関係
☆空手関係
☆少林寺拳法関係
☆柔術関係
☆レスリング関係
☆相撲関係
☆射撃関係
☆水泳関係
☆陸上関係
☆野球関係
☆サッカー関係
☆バスケ関係
☆バドミントン関係
☆卓球関係
☆柔道関係
☆剣道関係
☆空手関係
☆少林寺拳法関係
☆柔術関係
☆レスリング関係
☆相撲関係
☆射撃関係
☆水泳関係
☆陸上関係
☆野球関係
☆サッカー関係
☆バスケ関係

部説

最近、高校生の自主退学が増えている。自主退学とは、家庭の事情、学業不振、対人関係の問題などがあげられる。しかし、家庭の事情でやむを得ず、という理由は、ごくわずかである。学業不振、対人関係などが圧倒的に多い。

逃げ道じゃない

自主退学をどう考える

に、学校の雰囲気になじめないというのがある。学業不振の場合、「みんなが高校に行くから自分も」に相対し、その悩みを解決するというのが、決定的ではないだろうか。しかし、親に言われて無理をしてレベルの高い学校を選んだなど、自分

針の末

長く暑かった一九八三年の夏。その夏も終わりに近づいた。九月一日午前三時二十六分二十一秒。乗員・乗客合わせて、二百六十九人を乗せた大韓航空のボーイング747型ジャンボジェット機007便が異変が起った。ソ連のミグ23戦闘機がミサイル攻撃を受けた。大韓航空機は、赤い火の玉となって一直線に冷たく、暗い北の海へと墜ちて行った。一時はこの事件が、各新聞のトップを埋めていた。この事件で、たつた一発のミサイル攻撃によって、多くの人命が、一瞬にして奪われたのだ。あまりにも無惨で、あつけない。世界中で、数え切れないほどの兵器が製造され、装備されている。一方では、軍縮が叫ばれている。人々の命を救うため、戦争、この戦争を止めて、行こう。世界のあちこちでは、今でも、戦争が行われている。赤い閃光が光るたびに、何人かの命が、虫ケラのように殺されて行く。戦後三十八年、日本は平和な日々が続いている。しかし、今の世界状況では、いつ何時あのような悲惨な戦争に巻き込まれるかもしれない。近年世界各國で、一般民衆が、反戦・反核をアピールする運動を行い、世界平和を訴えている。日本でも、年々そのような運動が、活発化してきている。この小さな地球上で、同じ人間同士が、なぜ殺し合わねばならないのかわからない。ひとりひとり、世界平和の念を持って、悪魔の影、戦争の影をなくしたい。戦争は人間に与える限り、戦争は無くならないのではないだろうか。

砂丘を元の姿に

鳥取市役所商工観光課

鳥取砂丘の自然保護と現状を伺うために、鳥取市役所商工観光課を訪れた。ここでは、国立公園としての鳥取砂丘を管理している。鳥取砂丘は、東西十六キロメートル(岩戸/白鬼神社南北二キロメートル(最長距離)で、昭和三十三年にその一部が天然記念物に指定され、昭和三十八年七月には鳥取砂丘を三つに分けたうち、浜坂砂丘全と福部砂丘の一部が、山陰海岸国立公園に指定された。昭和三十八年に国立公園に指定されたことについて、観光課は大きく、観光客が以前より増えたそうである。しかし、砂丘を見に来た観光客でも、砂丘を見るときは帰ってしまおうと、鳥取市では「砂丘を中心に見る観光客を長く滞在させる」という観光方針を立てている。観光振興懇談会、砂丘の研究会などで、観光施設を整える、という意見が出ているが、「大きな経費がかかる事なので一度にはできないだろう」とのことだ。

鳥取砂丘の自然保護と現状を伺うために、住民から聞き取り、植林に取り組むようになり、植林したクロマツやニセアカシアが、余りにも大きくなり過ぎて、砂丘の本来の姿、風紋や砂の動きが失われつつある。このため、せきかく林野庁が植えた木々を、砂丘の本来の姿を維持するために、抜根しようという計画が立てられている。また、オートバイなどの乗り入れも、砂丘の自然破壊の原因の一つである。タイヤの跡が残っていたり、景観上見苦しく、その上、排気ガスのために、砂丘に生えている草木が枯れたりしている。

今、鳥取市で一番の課題は、「鳥取砂丘を本来の姿に戻す」ということである。砂丘開発が行われている現在、この問題を解決するのは難しいだろうか。

砂丘まだ見とらん

観光客インタビュー

鳥取で、砂丘を見たという観光客にインタビューした。鳥取市に訪れた観光客は、砂丘を見たという人が70%で、砂丘を見たという人は、鳥取市に訪れた観光客の約半数に達している。また、砂丘を見たという人は、鳥取市に訪れた観光客の約半数に達している。また、砂丘を見たという人は、鳥取市に訪れた観光客の約半数に達している。

観光中心の報道

新日本海新聞社

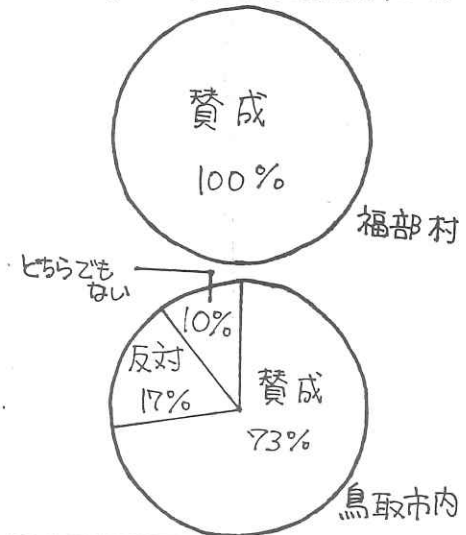
我々は、砂丘について、地元の新聞社が、どのような報道をしているのかを知りたい。新日本海新聞社は、鳥取市に訪れた観光客の約半数に達している。また、砂丘を見たという人は、鳥取市に訪れた観光客の約半数に達している。また、砂丘を見たという人は、鳥取市に訪れた観光客の約半数に達している。

お客さん大歓迎！ 住民インタビュー

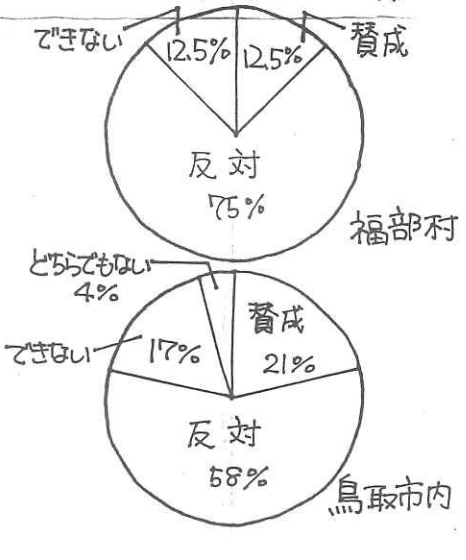
鳥取市と砂丘農業にたずさわっている人々の多くは、砂丘開発が原因だと考えられる。左の図を見ても分かるように、砂丘を農地として利用することに賛成している人は、鳥取市では73%、福部村では100%に達している。また、砂丘を農地として利用することに賛成している人は、鳥取市では73%、福部村では100%に達している。

住民インタビュー結果

砂丘を農地として利用することに賛成ですか



砂丘を工業地として利用することに賛成ですか



自然を守ろう 対策強化を希望

砂丘の現状及び、砂丘を守るための対策強化を希望。砂丘の現状は、観光客の増加による自然破壊が進んでいる。砂丘を守るためには、観光客の増加による自然破壊を進めている。砂丘を守るためには、観光客の増加による自然破壊を進めている。

